

書籍「ミツバチの秘密」にみなべ・田辺梅システムについての紹介および著者による同地域での調査結果が掲載されています

2023年8月29日に出版された書籍「ミツバチの秘密」（緑書房）に、みなべ・田辺の梅システムの紹介および同地域で著者が行っているミツバチに関する研究が掲載されています。著者は、みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会の有識者でもある京都産業大学生命科学部准教授 高橋純一氏です。興味のある方はご確認ください。



2 和歌山が誇る熊野蜜と南高梅

南高梅・紀州備長炭とニホンミツバチ

梅の産地として有名な和歌山県は、対馬や四国と並んで古くから伝統的養蜂が盛んな地域で、日本養蜂の発祥の地とも言われています。また、ニホンミツバチの飼養人数が都道府県単位で最も多い地域の1つです。特に熊野で取れたハチミツは熊野蜜と呼ばれています。今でも盛んに養蜂が行われ、セイヨウミツバチのみかんハチミツの産地の1つです。

県南部のみなべ・田辺地域（図8）は南高梅の生産地として有名で、その受粉にはニホンミツバチが活躍しています。

出版社：緑書房 (<https://www.midorishobo.co.jp/>)

発行年月日: 2023/08/29

ISBN-13 : 9784895318952

版型：A5 判

本体：税込 3,080 円

ページ数：352